

いもう 葦毛通信



サワオグルマ

2021年6月23日
豊橋市文化財センター
豊橋市松葉町3丁目1
TEL: 0532-56-6060

No. 111

葦毛湿原が国指定天然記念物になります！

1、文化審議会の答申

現在、愛知県指定天然記念物の葦毛湿原について、6月18日に国の天然記念物に指定するよう国の文化審議会より文部科学大臣に答申されました。今回の指定で、豊橋市の国指定文化財は23件（うち、天然記念物2件）になります。

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 1 名称 | 葦毛湿原（いもうしつげん） |
| 2 指定基準 | 天然記念物の部二 植物（四）代表的な原野植物群落 |
| 3 所在地 | 愛知県豊橋市岩崎町字長尾 75 番 47 外 16 筆 |
| 4 面積 | 32,684㎡ |
| 5 現況 | 山林、原野、雑種地、井溝 |
| 6 説明 | |

概要 葦毛湿原は、愛知県豊橋市東部にある弓張山地山麓の緩斜面に広がる国内最大級の湧水湿地であり、東海地方に特有の東海丘陵要素植物、熱帯アジアが分布の中心である暖地系植物、氷期の遺存種である寒地系植物、アジア大陸由来の大陸系遺存植物が混在している植物群落である。

湧水湿地 湧水湿地は、湧水が地表を浅く流れ広がることで涵養される湿地であり、泥炭がほとんどもしくは全く堆積しない。全国に分布し、とりわけ、東海、近畿、瀬戸内地方に集中してみられる。湧水湿地の多くは小面積で、東海地方で確認される1100～1200か所の湧水湿地のうち、75%が面積1,000㎡未満である。

湧水湿地は里山の一部であり、絶滅危惧種を含む保全上重要な生物群集の生育環境であり、東海地方の湧水湿地には地域固有・準固有の植物種が生育する。湧水湿地は、地域固有の生物多様性を保全するという観点から重要な生態系である。

一方で、湧水湿地は、薪や木材、水などの供給地として利用され、地域に住む人々と密接な関わりをもってきた。このことから、湧水湿地は、動植物の豊かさによって特徴づけられる自然的な価値と、長く地域の人々に利用されてきたことに基づく文化的な価値とを併せ持つ生態系として貴重なものである。しかしながら、湧水湿地は生活の場に比較的近いことから、高度経済成長期を中心に圃場整備、宅地造成、道路開発といった土地開発の影響を受け、その数は大きく減った。

湧水湿地としての葦毛湿原 葦毛湿原の湿地部分は、約13,600㎡の広さを有する稀有のものであり、国内最大級の規模を誇る。標高60～70mの緩斜面に広がっており、背後の

山腹斜面に露出した帯水層から滲み出した湧水が集まった数本の沢に加え、湿地内に広く面的に存在する湧水によって、地表面を常に水が流れている。

東海丘陵要素植物 東海地方の周伊勢湾地域は、湧水湿地が高密度に継続して存在する特徴的な地域であり、東海丘陵要素植物が生育する地域である。東海丘陵要素植物は、単一の起源をもつものではなく、氷期の遺存変種、大陸要素の残存分布と考えられる種、熱帯・亜熱帯に分布の中心を置く種が含まれており、この地域特有の環境が長期間存在し続け、そのことが地域固有な植物群を成立させたと考えられている。湧水湿地は、東海丘陵要素植物の代表的な生育環境のひとつである。

葦毛湿原は、高密度分布地域である東海地方の周伊勢湾地域にあって、湧水湿地の典型的な動植物相や植生を有しており、地形的立地を含め、その代表的な存在である。ここには、東海丘陵要素植物として定義されている 16 種の植物のうち、トウカイコモウセンゴケ、ミカワシオガマ、ヒメミミカキグサ、ミカワバイケイソウ、シラタマホシクサ、クロミノニシゴリの 6 種が生育している。

暖地系植物 4 種のミミカキグサ類やミカワシンジュガヤ、ケシンジュガヤといったシンジュガヤ類などの、熱帯アジアが分布の中心である暖地系植物もみられる。

寒地系植物 東海地方の低標高地域にもかかわらず、主に東北地方の亜高山帯の湿原が国内での分布の中心であるヌマガヤ、イワショウブ、ミズギク、ミカヅキグサなどの氷期に低地に進出し湿地に取り残された遺存種である寒地系植物がみられる。

大陸系遺存植物 日本では阿蘇などの九州の草原で生育するキスミレ、ハルリンドウ、ヒゴタイ、ミコシギクなどの大陸系遺存植物が隔離分布している。

植物群落 葦毛湿原内には、シラタマホシクサ群落、ミカヅキグサ群落、ヌマガヤ群落、イヌツゲ群落、ハンノキ群落などの種組成の異なる複数の群落が、水位や水流の傾度に伴う多様な環境に沿ってモザイク状に成立している。湧出傾向が強い場所付近にシラタマホシクサ群落やミカヅキグサ群落がみられ、その周辺にヌマガヤ群落、イヌツゲ群落が広がっており、沢沿いなど水量の多いところにハンノキ群落が成立し、湧水湿地の典型的な植物群落の配置が維持されている。

周辺の湧水湿地群 葦毛湿原の周辺には、^{さんたろういけ}三太郎池湿地や^{ながおいけ}長尾池湿地と呼ばれている比較的規模の大きな湿地や小規模な湧水湿地、ハンノキ湿地林などが多数点在しており、葦毛湿原を中核とした湧水湿地群として、貴重な湿地生態系が成立している。

里山としての人間とのかかわり 葦毛湿原およびその周辺は、江戸時代に薪炭林や^{まぐさば}秣場として管理されていたことを示す多くの記録が遺されているなど、少なくとも 800 年にわたり里山として利用され、湧水湿地が存在していたと考えられる。しかし、昭和 40 年代以降、湿原の周辺ではスギやヒノキが植林され里山としての管理はなされなくなったため、葦毛湿原は、周辺から徐々に森林化し植生遷移が進行している。

葦毛湿原の保全 昭和 51 年以降、行政や有識者、保護団体らが協力して調査および発掘調査手法を援用し埋土種子が多い地層を細かく分層して管理する方法を用いた植生回復事業を実施するなど湿原の保全を継続的に図っており、葦毛湿原の保全に対する地元の意識は極めて高い。

評価 葦毛湿原は、日本最大規模の湧水湿地であり、東海丘陵要素植物、暖地系植物、寒地系植物、大陸系遺存植物といった様々な植物群が混在して生育する点において、生態学的、植物地理学的に価値が高いことから、国の天然記念物に指定し、一層の保護を図るものである。

7 葦毛湿原保護の長期にわたる取組み

- ・昭和40年（1965） 恒川敏雄氏（三河生物同好会）らが湿原の一部を購入
- ・昭和51年度（1976） **第1次調査【愛知県実施】**
- ・昭和62年（1987） 豊橋市指定天然記念物に
- ・平成4年2月28日 愛知県指定天然記念物に
- ・昭和62～平成24年度（1987～2012） **第2～7次調査【豊橋市実施】**
※回復実験→小規模施策→回復施策
- ・平成24年度～（2012～） **大規模植生回復作業【豊橋市実施】**

以上が報道機関に提供された内容です。これで葦毛湿原は国指定天然記念物になります。大規模植生回復作業を進めるにあたり、豊橋湿原保護の会、豊橋自然歩道推進協議会、葦毛湿原植生回復ボランティア等の方々のご協力をいただきましたが、葦毛湿原の保全に関して地元の意識が高いという点も評価されました。ご協力ありがとうございました。

今後は、さらに良好な形で葦毛湿原を次世代に伝えていくために、様々な取り組みを行っていきたいと考えております。

国指定を記念して、7月18日に現地見学会を開催します。ぜひご参加ください。葦毛湿原では、春の花が終わり、夏の花に代わろうとしています。現在はトウカイコモウセンゴケ、モウセンゴケ、イソノキ等が満開になっています。これから、ミミカキグサ類も開花して行きます。

葦毛湿原国指定記念現地見学会

- 1 開催日時 7月18日（日）10:00～、13:30～
- 2 集合場所 長尾池公園あずまや（葦毛湿原入り口）
- 3 参加申込 豊橋市文化財センターまで電話で申し込み
定員・各回60名（申込先着順）
- 4 問い合わせ 豊橋市文化財センター（☎0532-56-6060）

2. 2021年度モニタリング報告ー2

葦毛湿原ではイソノキやイヌツゲ、コシキイチゴなども開花しました。これらは、愛知県指定希少野生動植物種に指定されているヒメヒカゲの吸蜜植物になっています。ヒメヒカゲも羽化していますが、依然個体数は少なく絶滅が危惧される状態です。ヒメヒカゲは愛知県自然環境の保全及び緑化の推進に関する条例で指定された「**指定希少野生動植物種**」です。許可なく採取することは**禁止**されています（一年以下の懲役又は百万円以下の罰金）。葦毛湿原では植物の違法採取も含め、警察とも連携して巡回等を行っています。

トンボやチョウ等の昆虫、希少植物は個体数が少なく、少数の違法採取によっても壊滅的な状態になる場合も考えられます。葦毛湿原は生息する生物の種類は多くても、生息している個体数は必ずしも多くありません。多くの生物が絶滅の危機にあります。これは葦毛湿原周辺が森林化して環境の多様性が阻害されているためかもしれません。動物や昆虫も含め、多様な生物が安定して生きていくためには、湿地だけでなく草地や疎林等の環境も広い範囲で再生させること、つまり、**里山の再生**を行う必要があると思います。

1) カザグルマ（愛知県絶滅危惧Ⅱ類）

カザグルマは今年も順調に開花数が増え、4月27日には404輪が確認できました。特にL・J地点で開花数が増えています。

L地点の四の沢沿いでは、161輪が確認できました。間伐して明るい森にしたところでは開花数は2020年に若干減りましたが順調に増えています。カザグルマは、L地点では明るい森内に点々と広がっていますが、J地点は一か所に集中しています。L地点では発芽数は多いのですが、開花

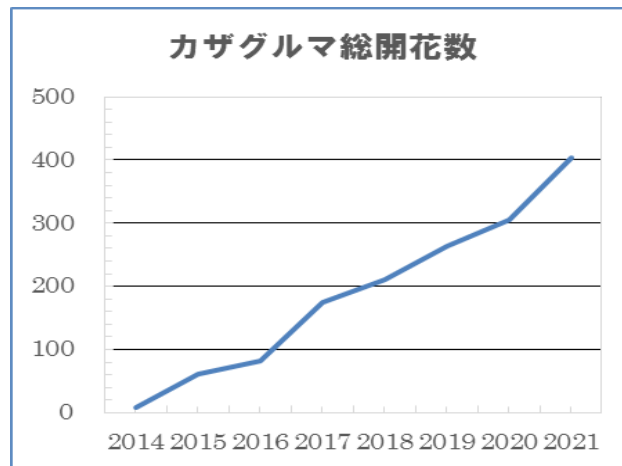


L地点のカザグルマ（2021年4月27日）

い個体が多く見られます。今後、ツルが木質化して開花が増えると予想しているため、来年も開花数は増えてくれると思います。

カザグルマ地区別開花数

観察年	2017	2018	2019	2020	2021
観察日	5/10	5/1	5/9	5/11	4/27
D・E・V		26	65	32	26
L	44	74	116	103	161
M	5	4	0	4	0
J	37	79	57	119	198
O			7	17	2
B	10	15	19	31	17
合計	96	198	264	306	404



年度	総開花数
2014	8
2015	62
2016	82
2017	175
2018	211
2019	264
2020	306
2021	404